

2 学校配置の見直しに向けて ～検討の基本となる4つのブロック～

生野区における小学校及び中学校の教育環境の抱える大きな課題を解消するために「大阪市学校適正配置審議会*1答申（平成22年2月）」及び「大阪市立小学校 学校配置の適正化の推進に向けての方針」（平成26年3月）を踏まえた学校配置の見直しを進めます。

その際、区内に28校ある市立小・中学校すべての見直しを一体的に進めることは学校活動への影響の大きさなどから非常に困難を伴います。また、保護者をはじめ地域住民のみならずと丁寧に意見交換を重ねていくためにも、適宜、区内をいくつかのブロックに分割して順次検討を進めていくことが適切と考えます。

そこで、現在の校区や通学の安全性、地域的なつながりなどに配慮して勝山通と今里筋を中心として区内を大きく「4つのブロック」に分け、ブロック単位で取組を進めていくこととします。

図1 検討の基本となる4つのブロック

【西側エリア】

Aブロック

(小学校5校)

北鶴橋・御幸森・鶴橋・
東桃谷・勝山

(中学校2校)

勝山・鶴橋

【西側エリア】

Bブロック

(小学校6校)

林寺・生野・田島・舍利寺・
生野南・西生野

(中学校2校)

生野・田島

【東側エリア】

Cブロック

(小学校4校)

中川・東中川・小路・
東小路

(中学校2校)

大池・東生野

【東側エリア】

Dブロック

(小学校4校)

巽・北巽・巽南・巽東

(中学校3校)

巽・新生野・新巽

